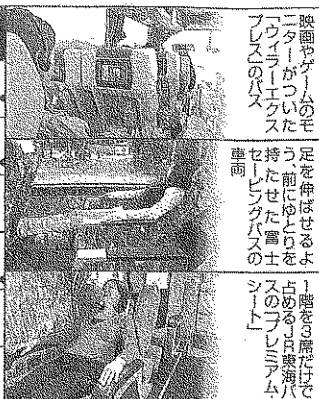


特徴のある主な東京-名古屋間の高速バス(運賃は日によって変動することがある)

特徴	会社	標準的な運賃(大人)	横の座席数	備考
モニターつき	ウィラー トラベル	3600円	4列	各席で映画、ゲーム、音楽が楽しめる。昼便のみ
足を伸ばせる	富士セー ビングバス	4000円	3列	縦の席数を減らし、リクライニングとフットレストでほぼ横になれる
低価格	平成エンター プライズ	500円	4列	インターネットで不定期に発売。夜行のみで通常は2500円から
豪華シート		昼6300円、 夜7620円		幅60センチで新幹線グリーン席より広い
女性専用	JR東海バス	5000~ 6420円	3~4列	レディースドリーム号、青春レディースドリーム号で夜行のみ
低価格		2280円	4列	平日昼便で21日前までにインターネットで予約



映画やゲームのモニターがついた「ウィラー」エクスプレスのバス

足を伸ばせるように前にゆとりを設けた富士セービングバスのシート

1階を9席、2階を3席で占めるJR東海バスの「レディースドリーム号」

ツアー業者参入 需要を開拓

貸切VS.路線 高速バス激戦

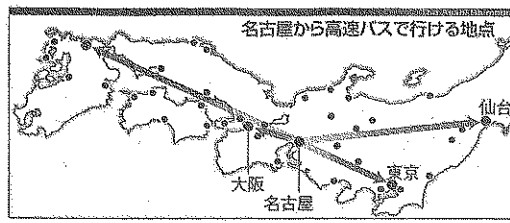
東京-名古屋間の高速バスが、価格とサービスで激戦を展開している。ツアーバスに大手バス会社が対抗、需要を底上げしている。

JR・名鉄バス
しにせの大手バス会社も、ドール路線の名古屋-東京便で対抗策を打ち出す。東京便を主力路線とするJR東海バス(名古屋市中川区)は、大幅な割引と高級化を打ち出した。夜行バス「青春ドリーム号」で、21日前までにインターネット決済で予約すると2360円。3月12日からは平日の「一東名古屋ハイウェイバス」も最低2280円とし、高速ツアーバスを下回る水準に設定した。

一方、2階建ての高級バス「ドリーム号」などには、新幹線のグリーン席より大きい「プレミアムシート」を導入。1階部分を3席で占めながら1200円の追加料金で

高級感・使いやすさをPR

乗れるとあり、夜行はほぼ満席と噂。また名古屋市内や三河地方で停留所を増やし、利便性をアピールする。名鉄バス(岡田中村区)も昨年片道1100円だった理由を、やはり運賃の安さ



安さ武器にネットで浸透

ツアーバス
ツアーバスの集金地として知られるJR名古屋駅の太閤通口。午前8時過ぎ、ピンク色の高速ツアーバス「ウィラーエクスプレス」は、満員の約40人乗せて東京へ発車した。乗客のほとんどが若者なは、まず運賃が安いからだ。通常で3200円から、新幹線の3分の1。就職活動中の慶応大立大3年、戸川裕太さん(28)は「毎月2回は上京するから、すごく助かっています」と話す。

約5時間半の道のりだが、最新型バスには映画やゲームを楽しめるモニターがついている。海外旅行に向かう同県岡崎市の大学生石田綾花さん(21)は「友達に『安いよ』と勧められて初めて乗っただけ。映画も見られて快適です」と満足そうだった。

安全の質維持へ 認定制度も予定

国土交通省・業界
国土交通省中部運輸局によると、JRや名鉄バスは道路運送法の「乗合バス」として路線やダイヤ運賃が決められ、変更には手続きが必要だ。だが高速ツアーバスは「貸切バス」に当たり、路線やダイヤは旅行会社と乗客の契約次第。旅行会社の拠点は東京や大阪が多く、名古屋での運行実態を必ずしも把握できていないのが実情だ。吉田昭一自動車交通部長は「安全にかかるとコストをまかなうのは運賃しかない。安価にした」

競争激化で無難が出るのではと懸念。そこで国土交通省は新年度にも、安全にかかわる法令違反がない貸切切りバス業者に「111」(111)と「112」(112)といった認定制度を始める予定だ。「乗合バス」にあたる高速バス会社に対しては路線やダイヤの変更手続きを簡素化し、競争条件を近づける方針だ。高速ツアーバス各社は昨年10月に連絡協議会を設立。国土交通省と連携しながら、安全やサービスの向上への懸勢づくりを進めている。

予約サイト「楽天トラベル」によると、東京-名古屋間は平日、昼間に平均18往復、夜行で同25往復の高速ツアーバスが走る。高速ツアーバス予約者の9割はネット経由で、ビジネスマンの利用も増えた。運賃は、安いもので一般的な4列シートは2900円程度、3列シートなら4千円程度。「楽天トラベル」の成定竜一さんは「かつては『路線バスは高級』『ツアーバスは安い』だったが、今はツアーバス事業も充実したサービスの競争に向かっていく」とみる。

せき合いは続く。今年1月、「東京-名古屋500円」という激安価格が登場した。「平成エンタープライズ」(埼玉県富士見市)の「VIPライナー」が、ネットでも不定期に発売する。「空席より、PRも兼ねて乗ってもらいたい」と始めた。

ツアーバスの登場で高速バスの認知度が上がったことも事実で、我々も新たな戦略を立てる機会になった。「2年前向きにとらえる。高速バスが収益を確保するには、値下げをしても席を埋めることが必要。だが値下げしすぎるわけにいかないのが難しい」とある。